

レジメン名

HD-MEL

出典 アルケラン静注用インビュフォーム
2021年9月改訂(第10版)

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

多発性骨髄腫

進行・再発

補助療法(術前・術後)

造血幹細胞移植前処置

投与減量の基準

低リスク(全年齢に適用、以下の全てを満たす)

- ・2臓器以下の障害、心アミロイドーシス、CLcr \geq 51mL/min
- 60歳以下:100mg/m²/day、61~70歳:70mg/m²/day、71歳以上:50mg/m²/day

中間リスク(71歳未満に適用、以下のどちらかを満たす)

- ・2臓器以下の障害(心障害またはCLcr<51mL/minを合併)、心症状は無いか代謝期
- 60歳以下:70mg/m²/day、61~70歳:50mg/m²/day

1クール期間 3日
(次のクールまでの標準期間)

総クール数 1

投与中止の基準

高リスク(全年齢に適用、以下のどちらかを満たす)

- ・3臓器の障害、進行した心障害あり

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
メルファラン(アルケラン)	100mg/m ²	生食100mL (中心静脈)	15分 ※	d-3、d-2
※調製後、1.5時間以内に投与を終了すること。				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 濃縮液まで含む)
<p>d-3</p> <p>①アロキシ0.75mg/バッグ+デキサート9.9mg(15-30min)</p> <p>②生食50mL(フラッシュ用)</p> <p>③アルケラン100mg/m²+生食100mL(15min)</p> <p>④生食50mL(フラッシュ用)</p>
<p>d-2</p> <p>①デキサート6.6mg+NS50mL(15-30min)</p> <p>②生食50mL(フラッシュ用)</p> <p>③アルケラン100mg/m²+生食100mL(15min)</p> <p>④生食50mL(フラッシュ用)</p>
<p>d-1</p> <p>①デキサート6.6mg+生食50mL(30min)</p>
<p>d-3~d-1 内服</p> <p>アプレピタントカプセル(125mg-80mg-80mg)</p> <p>初日は化学療法1時間前、その後朝食後</p>
<p>※アルケラン投与前日から投与終了後24時間は、水分補給及び利尿剤の投与を行い十分な尿量を確保すること。補液量は2,000mL/日以上、確保すべき尿量は100mL/h以上を目安とする。</p> <p>※クライオセラビーを検討。</p>